

東北地域における農家世帯員の農業就業状況の分析

堀川 彰

(東北農業研究センター)

An Analysis of Employment Situation of Farm Household Members in the Tohoku Region

Akira HORIKAWA

(National Agricultural Research Center for Tohoku Region)

1. はじめに

東北地域における販売農家の全世帯員（15歳以上）の就業状況を、性別・年齢別・所属農家農産物販売金額別に分類し、県単位で集計したので報告する。

なお、分析に利用したデータは、2000年センサス調査票である（「総統審第128号」平成14年3月2日）。

2. 分析と考察

最初に、2000年農業センサス個票にある、「この1年間の生活の主な状態」を販売農家の全世帯員について、県別に集計した（図1、図2）。

全体として、男性では、「主に他に勤務」の多寡、女性では「家事・育児」の多寡が「主に自営農業」（即ち、基幹的農業従事者）比率を規定している様に見られるが、男性の場合、農外就業の機会や労働条件により「主に自営農業」が選択されているのか、農業サイドの要因（長時間の労働力投下を要する作目の栽培等）が「主に他に勤務」を困難にしているのかの因果関係は不明である。

また、女性において、「家事・育児」の比率の県間差が顕著であり、かつ、この「家事・育児」比率によって、女性の基幹的農業従事者比率がかなりの程度規定されている。東北6県の女性の「主に他に勤務」は青森県が25.9%で特異的に低く、その他の県は30.2~33.2%であり、「主に自営業」は2.1~3.0%（東北6県。以下同じ）、「学生」が7.2~8.8%、「その他」が17.4~20.6%と比較的狭い範囲に集中しているのに対し、「家事・育児」は青森・岩手・福島の3県が13.5~14.2%と低いグループを、秋田・山形・宮城の3県が20.0~22.4%の高いグループを作っており、後者のグループでは、いずれも基幹的農業従事者比率が20%を割り込んでいる。

いずれにせよ、東北地域において男女共に農業従事傾向が最も高いのは青森県であり、低いのは秋田県である。

よって、この2県を対象として、農業従事傾向を年齢階層別、農産物販売金額階層別に比較検討する。

年齢階層別では、男性について見ると、青森県では年齢と共に農業従事傾向が直線的に増加し、ピークとなる65~69歳の階層では基幹的農業従事者比率が65%に達する。また、リタイア年齢も遅く、80~84歳の階層でも、なお27%が基幹的農業従事者となっている。

一方秋田県では、とりわけ若年層で「主に他に勤務」の割合が高く、農外就業の機会が限定される60歳以降で農業従事傾向が増加するが、青森県に比べてピーク（65~69歳で基幹的農業従事者比率50%）も低く、リタイアの年齢もより若い。

女性の場合も同様な傾向があり、青森県では60代の女性の約6割が基幹的農業従事者であるが、秋田県では約3割に過ぎない。

次に、農産物販売金額階層別に見ると、青森県において、低い販売金額階層における農業従事傾向が顕著である（図3、4）。

男性の場合、青森県では「主に自営農業」が「主に他に勤務」を越えるのは200万~300万円の階層であるが、秋田県では500万~700万円の階層である。同様に女性の場合、青森県では逆転が生じるのは100万~200万円の階層であるが、秋田県では500万~700万円の階層である。

両県の差異をもたらしている要因として、作目の違いが考えられるので、青森県の果樹単一経営農家を抽出したところ、県全体よりも更に低い販売階層から農業従事傾向が顕著であった。一方で、青森県から水稲単一経営農家を抽出して、秋田県の水稲単一経営農家（大潟村を除く）と比較してみると、両者の乖離は小さかった。

従って、この2県の農業従事傾向の差異は、少なくとも部分的には両県の主たる作目経営部門の違いに帰すると考えることができる。

3. まとめ

以上、東北地域における販売農家世帯員の就業状況を概観したが、青森県の高い就農傾向に関しては、狭隘な地域労働市場等の農外要因の関与も考えられるが、主たる作目によって、部分的には規定されていることを示した。

また、女性における「家事・育児」の県間差に関しては、それが（ジェンダー本位の伝統的役割分担といった）文化的要因に起因するものか、農外就業機会や世帯内で必要とされる農業労働力の充足の程度に起因するものか、今後の検討が必要である。

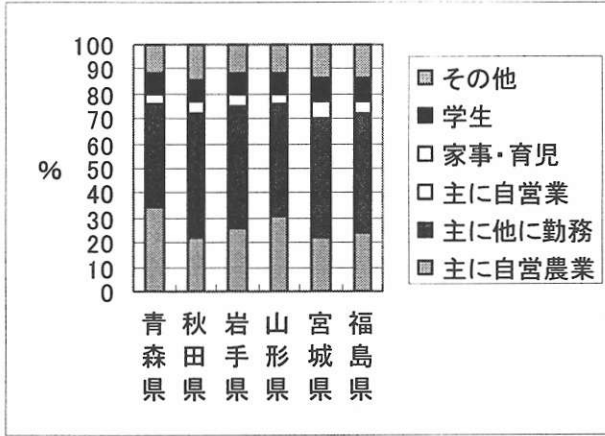


図1 東北各県の販売農家世帯員就業状況（男性）

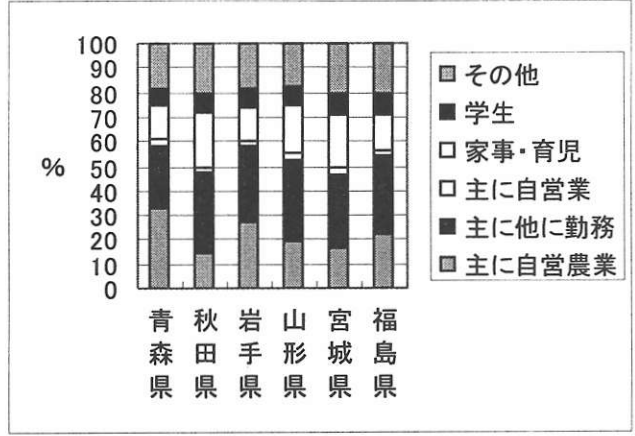


図2 東北各県の販売農家世帯員就業状況（女性）

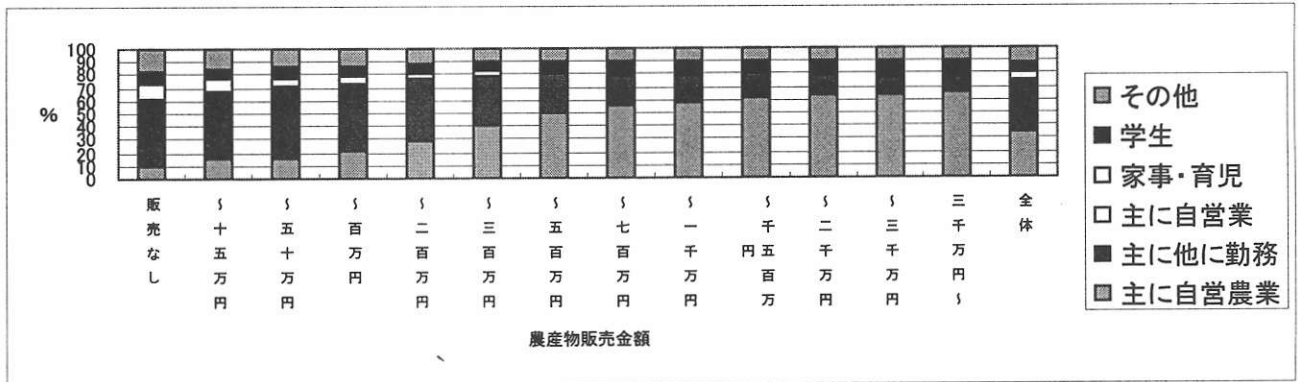


図3 農産物販売金額階層別に見た就業状況（青森県、男性）

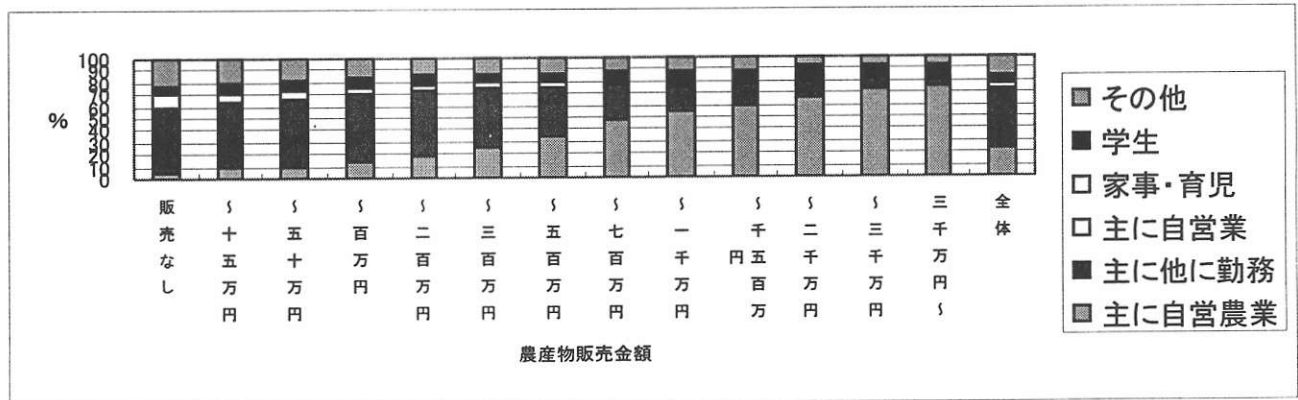


図4 農産物販売金額階層別に見た就業状況（秋田県、男性）